

# 新型コロナウイルス感染症 対応方針



くっつかないモン  
#KeepDistance



手を洗うモン  
#WashHands



換気をするモン  
#OpenWindow

ウェーブ  
スタート

2022年8月12日作成

※内容は情勢の変化により変更する場合があります

## (1) 大会参加条件

- 新型コロナウイルス感染症対策として、参加にあたっては、大会当日において「**ワクチン接種歴、または PCR 検査等の陰性結果の確認**」を行います。以下のいずれかの方法により、確認を行わせていただきます。

  - ①ワクチン接種歴※3回接種を完了していること、かつ、3回目接種日から 14 日以上経過していることを確認。
  - ②陰性の検査結果※PCR 検査等、抗原定量検査、抗原定性検査のいずれかにより、PCR 検査等は検体採取日（不明な場合は検査日）より 3 日以内、抗原定性検査は検査日より 1 日以内の検査結果を確認する。※検査にかかる費用は参加者において負担すること。（各都道府県において実施されている「無料検査」をご利用ください。）
  
- ワクチンの接種証明については、厚生労働省の専用アプリ（新型コロナワクチン接種証明書アプリ）を使用されることを推奨します。なお、基礎疾患等によりワクチン接種ができない方については、各都道府県の実施する無料検査事業などをご利用いただき、PCR 検査や抗原検査等を事前に受検されたうえで参加してください。（※当日陰性証明を確認させていただきます。）

## (2) 健康観察シートの提出

- 事前に案内する**健康観察シート**に下記を記載のうえ、当日持参していただきます。（受付で回収・確認）
  - ①ゼッケンNo.及び氏名
  - ②自宅又は宿泊先を出発する前の体温
  - ③コロナワクチン接種もしくはPCR検査等の陰性確認
  - ④大会前1週間における以下の事項の有無
    - ・体調不良（発熱、咳、のどの痛み、だるさ、嗅覚や味覚の異常等）
    - ・新型コロナウイルス感染症陽性と診断された者との濃厚接触の有無
    - ・同居家族や身近な知人等に感染が疑われる方がいるかどうかの有無
    - ・過去7日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等へ渡航または当該在住者との濃厚接触の有無
- 受付会場入り口における参加者・関係者の検温実施。

## (3) 大会参加者の基本行動

- **COCOA**（新型コロナウイルス接触確認アプリ）のインストールを強く推奨する。不織布マスク、ネックゲイター等の口を覆うもの（以下マスク等）を持参・携帯し競技中以外は常に着用する。
- こまめな手洗い、アルコールによる手指消毒を行う。
- 他の参加者やスタッフ等との間隔を**1m以上**確保し、握手やハイタッチなどの接触をしない。
- 大きな声で会話、応援等をしない。
- その他感染防止のために主催者が定めたルールを守り、その指示に従う。

## (4) 医療機関関係者（医師・看護師）の配置や管理体制の構築

- 会場における医師や看護師の配置
- 熊本県や天草保健所等の定める基準に基づく感染予防マニュアルの作成

## (5) 大会規模の縮小

- 開会式や表彰式、出店、沿道応援の中止
- 参加者を「国内在住者」とする。

## (6) ソーシャルディスタンスの確保

- 受付時の混雑緩和及びスタート地点の密集防止を図るため、**ウェーブスタート（分散出走）を実施**する。タイムを申込時に申告してもらい、その申告タイムに基づき出走時間を決定する。
- メイン会場を「茶北町麟泉運動公園」とし、周辺施設等の効率的なレイアウトによる密防止の徹底
- メイン会場及びその周辺施設（茶北町町民総合センター・茶北町体育センター・茶北町総合武道館）における参加者・関係者以外の立ち入り禁止

## (7) 手指消毒、服装等

- 大会関係者は全てマスク等の着用を義務付け、適宜消毒を実施。
- 参加者に近接するスタッフは手袋等着用する。
- アルコール消毒を各所に配置
- 更衣室における喚起の徹底。（茶北町町民総合センター・茶北町体育センター）

## (8) 入場・受付

- **受付にて検温を行う**。37.5度以上の方は入場できない。
- 検温は非接触型体温計を使用する。
- 受付には距離を置いて並べるよう目印を設置する。
- 受付のスタッフはマスク等を着用し、こまめに手を消毒する。
- **ゼッケンは予め郵送**し、受付では参加賞の受け渡しのみとする。

## (9) 走行中

- 周囲の選手とはできる限り1m以上間隔を空けて走行する。
- 唾や痰、口に含んだ飲み物を吐く行為は行わない。

## (10) フィニッシュ時

- 完走証を発行するスタッフはマスク等を着用し、こまめに手をアルコールで消毒する。
- 表彰式は、実施しない。該当者へは、主催者から直接記念品等をお渡しする。
- 大きな声での声援やハイタッチなどの接触はしない。
- フィニッシュ後の選手はマスク等を着用して休憩する。

## (11) 救護

- 救護担当者はマスク等を着用し、ビニール手袋をつけて処置をする。手袋は処置が完了するたびに所定のごみ箱に捨て、適宜手をアルコール消毒する。

## (12) スタッフ

- 大会当日に発熱や体調不良など不適當な事項がある場合は参加を見合わせる。
- 大会中は常にマスク等を着用し口を覆う。受付や給水など選手と対面するスタッフは特に必着とする。
- 活動を始める前、終了後は必ず手を洗うかアルコールで消毒する。
- 大会本部には衛生管理担当者を配置する。担当者は各対策が守られているかチェックリストを用いて随時確認し、複数の人が触れると考えられる場所はこまめにアルコールで消毒する。
- スタッフ同士及び選手とは1m以上間隔を空ける。握手やハイタッチなどの接触は禁止とする。

## (13) 大会終了後

- 参加者、またはスタッフが**大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性の診断を受けた場合は速やかに大会事務局に報告**し、併せて大会時の濃厚接触者の有無等について申告すること。

## (14) その他

- 主催者は、国や県が示す基準や公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本陸上競技連盟が策定するガイドライン・ガイダンスに基づき、その他必要な新型コロナウイルス感染症対策を講じるものとする。

### (15) 新型コロナウイルス感染症対策に係る本大会の中止条件

- 新型コロナウイルス感染症対策に係る本大会（実走大会）の中止の判断については、下記の条件に基づき、主催者が時期を定めて判断を行う。
  - ①県内で緊急事態宣言（※）の発令、又はまん延防止等重点措置の適用、熊本県において「リスクレベル3」、それに準ずる措置がなされ、移動制限や外出自粛、イベント中止が要請されている場合。 ※新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言
  - ②国及び熊本県からイベント中止が要請されている場合。
  - ③天草管内をはじめとする熊本県内の感染状況や感染拡大リスク等を踏まえ、安全な開催が困難であると主催者が判断した場合。

### (16) その他

- 「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」の利用も推奨しています。ご自身のスマートフォンにインストールしてご利用ください。
- 今大会では、不特定多数による密を回避するため、**沿道等での応援は自粛**となっております。ご家族、ご友人につきましてもその旨お伝えくださいますよう、よろしくお願いいたします。
- 本対策方針の内容については、新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会情勢の変化等により適宜見直すこととし、内容を変更する場合があります。